

除 草 劑 使 用 指 針

目 次

除草劑改正事項一覽表	2
1 水稻除草劑使用指針	3
2 畑作除草劑使用指針	15
3 野菜除草劑使用指針	19
4 果樹除草劑使用指針	25
5 草地・飼料作物除草劑使用指針	26
6 花き除草劑使用指針	30

除草剤

改正事項一覧表

水稲除草剤使用指針

作物名	除草剤の区分	改正事項	改正内容	
移植水稲	初期除草剤	植代後～移植前7日 または 移植直後～ ノビエ1.0葉期まで	有効成分表、 使用方法	パデホープ1キロ粒剤を削除
		移植直後～ ノビエ1.0葉期まで	有効成分表、 使用方法	ワンベストフロアブルを削除
	一発剤	移植直後～ ノビエ1.0葉期まで	有効成分表、 使用方法	シーゼットフロアブルを削除
		移植直後～ ノビエ1.5葉期まで	有効成分表、 使用方法	プレッサフロアブルを削除
		移植3日後～ ノビエ1.5葉期まで	有効成分表、 使用方法	ネビロスーラジカルジャンボを削除
		移植直後～ ノビエ2.0葉期まで	有効成分表、 使用方法	サラブレットフロアブル、サラブレットRXフロアブルを削除
		移植後3日～ ノビエ2.0葉期まで	有効成分表、 使用方法	サスケーラジカルジャンボを削除
		移植後5日～ ノビエ2.0葉期まで	有効成分表、 使用方法	イッテツ1キロ粒剤を削除
		移植後5日～ ノビエ2.5葉期まで	有効成分表、 使用方法	シェリフ1キロ粒剤、ゼータファイヤフロアブル、ブルゼータジャンボを削除
	中・後期除草剤	移植直後～ ノビエ2.0葉期まで	有効成分表、 使用方法	ラオウジャンボを追加
		移植後7日～ ノビエ4葉期まで	有効成分表、 使用方法	ウィードコア1キロ粒剤を追加
	後期除草剤	有効分げつ終止期～ 幼穂形成期前	有効成分表、 使用方法	グラスジンMナトリウム粒剤を削除
直播水稲	初期除草剤	は種時 湛水直播のは種直後 ～ ノビエ1葉期まで	有効成分表、 使用方法	プレキープ1キロ粒剤を削除
		湛水直播のは種直後 ～ ノビエ1葉期まで	有効成分表、 使用方法	プレキープフロアブルを削除
		イネ2.0葉期～ ノビエ4.5葉期まで	有効成分表、 使用方法	ハードパンチDFを削除
	一発剤	は種後5日～ ノビエ1.5葉期まで	有効成分表、 使用方法	キックパイ1キロ粒剤を削除
	中・後期除草剤	イネ3葉期～ ノビエ5葉期まで	有効成分表、 使用方法	ワイドアタックSCを削除

野菜除草剤使用指針

作物名	除草剤の名称	改正事項	改正内容
スイートコーン	ロロックス(水和剤)	農薬名、有効成分	削除

果樹除草剤使用指針

作物名	除草剤の名称	改正事項	改正内容
りんご ぶどう	シマジン	項目、農薬名等	削除
りんご	カソロン粒剤6.7	投薬量/10a、備考	投薬量/10a及び備考の一部を訂正

1 水稻除草剤使用指針

(1) 水稻除草剤有効成分表(移植栽培用一発剤)

分類	ノビエの葉齢	除草剤名 (商品名)	有効成分	除草効果一覧											
				一年生雑草			多年生雑草及びその他の主要雑草								
				ノビエ	カヤツリグサ	一年生広葉	マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	オモダカ	ミズガヤツリ	クログワイ	ヒルムシロ	シズイ	
移植栽培用除草剤	2.0 葉期 まで	トップガンR豆つぶ250	ピリミノバックメチル プロモブチド ベンスルフロンメチル ペントキサゾン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○ ～ ◎	□	○ ～ ◎	○	
		バッチリ1キロ粒剤	イマズスルフロン ピラクロニル プロモブチド	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○ ～ ◎	□	○ ～ ◎	○	
		バッチリLX1キロ粒剤	イマズスルフロン オキサジクロメホン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○ ～ ◎	□	○ ～ ◎	○	
		デルタアタック1キロ粒剤	ピラクロニル プロモブチド								○ ～ ◎		○ ～ ◎		
		バッチリLXジャンボ	イマズスルフロン オキサジクロメホン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○		□		○	
		デルタアタックジャンボ	ピラクロニル プロモブチド												
		バッチリLX400FG	イマズスルフロン オキサジクロメホン	◎	◎	◎		◎							
		デルタアタック400FG	ピラクロニル プロモブチド												
		イッポンフロアブル	ピラクロニル プロモブチド ベンスルフロンメチル	◎	◎	◎	◎	○ ～ ◎	◎			□ ～ ○		□ ～ ○	○
	コメット1キロ粒剤	テフリルトリオン ピラクロニル メタズスルフロン	◎	◎	◎	◎	○ ～ ◎	◎			○ ～ ◎		◎	○	
	ラオウジャンボ	ダイムロン フェノキサスルホン フェンキノトリオン ベンスルフロンメチル	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	□	◎	◎	○	
	2.5 葉期 まで	トップガンRフロアブル	ピリミノバックメチル プロモブチド ベンスルフロンメチル ペントキサゾン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○ ～ ◎	□	○ ～ ◎	○	
		トップガンR1キロ粒剤	ピリミノバックメチル プロモブチド ベンスルフロンメチル ペントキサゾン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○ ～ ◎	□	○ ～ ◎	○	
		メガゼータフロアブル	ピラクロニル プロピリスルフロン	◎	◎	◎	◎	□ ～ ○	◎		○		○	○	
シグナスフロアブル		テフリルトリオン フェントラザミド メタズスルフロン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○ ～ ◎	□	○ ～ ◎	○		
アッパレZフロアブル		ピラクロニル プロピリスルフロン プロモブチド	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○ ～ ◎	□	○ ～ ◎	○		
キマリテフロアブル		イプフェンカルバゾン テフリルトリオン	◎	◎	◎	◎	○ ～ ◎	◎		○ ～ ◎		○	□ ～ ○		
ベッカク1キロ粒剤		ピリミスルファン フェノキサスルホン フェンキノトリオン	◎	◎	◎	◎	○ ～ ◎	◎		◎		○ ～ ◎	○		
ベッカク豆つぶ250		ピリミスルファン フェノキサスルホン フェンキノトリオン	○ ～ ◎	◎	◎		◎	◎				○ ～ ◎			
アカツキ豆つぶ250		フェノキサスルホン フェンキノトリオン メタズスルフロン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎		◎	○		

注) 除草効果：◎極大、○大、□中、△小、×小～無、一登録なし、空欄は除草効果の確認ができなかったもの。

(1) 水稻除草剤有効成分表(移植栽培用初期, 中期処理剤)

分類	ノビエの葉齢	除草剤名 (商品名)	有効成分	除草効果一覧											
				一年生雑草				多年生雑草及びその他の主要雑草							
				ノビエ	カヤツリグサ	一年生広葉	マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	オモダカ	ミズガヤツリ	クログワイ	ヒルムシロ	シズイ	
移植栽培用除草剤	一発剤 3.0葉期まで	センイチMX 1キログラム	ピラクロニル フルセトスルフロン メソトリオン	◎	◎	◎	◎	○ ~◎	◎		○ ~◎		○ ~◎	○	
		フルパワーMX 1キログラム													
		ジャスタフロアブル	シクロピリモレート ピラゾレート トリアファモン	◎	◎	◎	◎	□ ~○	◎		○ ~◎		◎	□	
		カウントダウン 1キログラム カウンシルエナジー 1キログラム	トリアファモン フェンキノトリオン フェントラザミド	◎	◎	◎	◎	○ ~◎	◎		◎		○ ~◎	□ ~○	
	初期除草剤	発生	デルカット乳剤	オキサジアゾン ブタクロール	◎	◎	◎	◎	○ ~◎	□	-	□		-	-
			ベクサー 1キログラム ベクサーフロアブル	ペントキサゾン	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-
		1.0葉期まで	ソルネット 1キログラム	プレチラクロール	◎	◎	◎	◎	◎	□	-	□	-	-	-
			エリジャン乳剤	プレチラクロール	◎	◎	◎	◎	◎	□	-	-	-	-	-
			シーゼットフロアブル	ビリブチカルブ プロモブチド ベンゾフェナップ	◎	◎	◎	◎	◎		-		-		-
			テマカットフロアブル	ダイムロン ペントキサゾン	◎	◎	◎	◎	◎	○	-	○	×	-	×
ショキニーフロアブル			プロモブチド ペントキサゾン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	○	△	-	-	
ショキニー250グラム			プロモブチド ペントキサゾン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	○	-	-	-	
マーシエット粒剤 5			ブタクロール	◎	◎	◎	◎	◎		-	□ ~○	-	-	-	
中期除草剤	2.5葉期まで	バサグラン粒剤 (ナトリウム塩)	ペンタゾンナトリウム塩	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	-	◎	
		ザーベックスSM粒剤	シメトリン ベンフレセート MCPBエチル	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎		○
	3.0葉期まで	ザーベックスDX 1キログラム	シハロホップブチル シメトリン ベンフレセート MCPBエチル	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	-	○
		オンオキMX 1キログラム	アジムスルフロン ピリフタリド メソトリオン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		○ ~◎		□ ~○	○

注) 除草効果: ◎極大、○大、□中、△小、×小~無、-登録なし、空欄は除草効果の確認ができなかったもの。

(1) 水稻除草剤有効成分表(移植栽培用中期, 中・後期除草剤、直播栽培用一発剤)

分類	ノビエの葉齢	除草剤名 (商品名)	有効成分	除草効果一覧											
				一年生雑草			多年生雑草及びその他の主要雑草								
				ノビエ	カヤツリグサ	一年生広葉	マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	オモダカ	ミズガヤツリ	クログワイ	ヒルムシロ	シズイ	
移植栽培用除草剤	4.0 葉期 まで	クリンチャー1キロ粒剤	シハロホップブチル	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		テッケン1キロ粒剤	ベノキススラム ベンゾピシクロン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○ ~◎	□	○	○	
		ニトウリュウ1キロ粒剤													
	中・後期 除草剤	—	バサグラン液剤(ナトリウム塩)	ベンタゾンナトリウム塩	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	◎
			バサグラン・エアー1キロ粒剤	ベンタゾンナトリウム塩	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	
		4.0 葉期 まで	ヒエクリーン1キロ粒剤	ピリミノバックメチル	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			ワンステージ1キロ粒剤												
		—	ヒエクリーンバサグラン粒剤	ベンタゾンナトリウム塩 ピリミノバックメチル	◎	◎	○ ~◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	—	◎
			ワイドパワー粒剤	ベノキススラム ベンタゾンナトリウム塩	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	○ ~◎	◎
		—	ウィードコア1キロ粒剤	フロルピラウキシフェンベンジル ベノキススラム ベンゾピシクロン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	□	◎	◎
			クリンチャーEW (無人航空機による散布)	シハロホップブチル	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		5.0 葉期 まで	クリンチャーEW (灌水散布又は落水散布)	シハロホップブチル	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			クリンチャーバスME液剤	シハロホップブチル ベンタゾンナトリウム塩	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—
		その他	—	モゲトンジャンボ	ACN	藻類、表層剥離、ウキクサに有効									
		3.0 葉期 まで	—	クリンチャーEW	シハロホップブチル	◎	—	—	—	—	—	—	—	—	—
直播栽培用除草剤	2.0 葉期 まで	トップガンR豆つぶ250	ピリミノバックメチル プロモプチド ベンスルフロンメチル ペントキサゾン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	—	○ ~◎	—	○ ~◎	—
		イネキングフロアブル	ピラクロニル ピラゾレート ベンゾピシクロン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	—	○ ~◎	◎	—	—
	2.5 葉期 まで	オサキニ1キロ粒剤	イマズスルフロン ピリミノバックメチル プロモプチド	◎	◎	×	◎	○ ~◎	—	—	○ ~◎	—	—	—	
		トップガンRフロアブル	ピリミノバックメチル プロモプチド ベンスルフロンメチル ペントキサゾン	◎	◎	◎	◎	◎	—	—	○ ~◎	—	—	—	
	3.0 葉期 まで	トップガンR1キロ粒剤	ピリミノバックメチル プロモプチド ベンスルフロンメチル ペントキサゾン	◎	◎	◎	◎	◎	—	—	—	—	—	—	
		ポデーガードプロフロアブル	テフリルトリオン	◎	◎	○	◎	□ ~○	—	—	○ ~◎	—	○ ~◎	—	
プライオリティ豆つぶ250		トリアファモン フェンキノトリオン	◎	◎	◎	◎	◎	—	—	◎	—	○ ~◎	—		

注) 除草効果：◎極大、○大、□中、△小、×小～無、—登録なし、空欄は除草効果の確認ができなかったもの。

(1) 水稻除草剤有効成分表(直播栽培用初期, 中・後期除草剤)

分類	ノビエの葉齢	除草剤名 (商品名)	有効成分	除草効果一覧												
				一年生雑草			多年生雑草及びその他の主要雑草									
				ノビエ	カヤツリグサ	一年生広葉	マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	オモダカ	ミズガヤツリ	クログワイ	ヒルムシロ	シズイ		
直播栽培用除草剤	初期除草剤 代かき後～は種前まで	テマカットフロアブル	ダイムロン ベントキサゾン	○ ～ ◎	◎	◎		◎								
	イネ出芽前まで	マーシェット乳剤	ブタクロール	○ ～ ◎		○ ～ ◎ (注2)										
	生育期	ラウンドアップマックスロード	グリホサートカリウム塩	◎		○										
	4.0葉期まで	ノミニー液剤	ビスピリバックナトリウム塩	◎		◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中・後期除草剤	-	バサグラン液剤(ナトリウム塩)	ペンタゾンナトリウム塩	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-
	-	バサグラン粒剤(ナトリウム塩)	ペンタゾンナトリウム塩	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	○ ～ ◎	-	-	-	-
	3.5葉期まで	ヒエクリーンバサグラン粒剤	ピリミノバックメチル ペンタゾンナトリウム塩	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-
	3～4葉期まで	クリンチャー1キロ粒剤	シハロホップブチル	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4.5葉期まで	クリンチャーEW (無人航空機による散布)	シハロホップブチル	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5.0葉期まで	クリンチャーEW (雑草茎葉散布又は全面散布)	シハロホップブチル	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		クリンチャーバスME液剤	シハロホップブチル ペンタゾンナトリウム塩	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	◎	-	-	-	-
	ワイドアタックD1キロ粒剤	ダイムロン ベノキスラム	◎	◎	□	◎	□	-	-	-	□	-	-	-	-	

注1) 除草効果：◎極大、○大、□中、△小、×小～無、一登録なし、空欄は除草効果の確認ができなかったもの。

注2) マーシェット乳剤の一年生広葉雑草はイボクサ、タデ類、アブラナ科を指す。

(2) 水稻除草剤使用方法

ア 使用上の注意

- 1 植代の整地均平は丁寧に行い、水管理に注意し、除草剤の使用適期、散布量を守り、散布ムラのない場合に高い除草効果が得られる。極端な浅植えや浮苗の多い水田、漏水田及び掛け流し田では、除草効果が得られにくく、薬害が発生しやすいので使用しない。
- 2 水管理は除草剤散布後の掛け流しは避け、稚苗移植は3cm前後、中成苗移植は4～5cmの水深とし、散布後3～4日間は水深3～5cmに保ち、散布後7日間は落水や掛け流しは行わない。散布後は、押水かんがいにより水温の上昇を図り、除草剤の特性にあった水管理を行う。また、薬害発生のおそれがあるので、極端な深水や水深が3cmに満たない条件では使用しない。
- 3 田植前に使用できる除草剤であっても、田植前の落水による除草効果の低下や河川への流出を防ぐため、極力田植後に使用する。田植前に使用する場合は田植時に落水しないよう、代かき時(散布時)に必要な以上の水を水田に入れない。
- 4 フロアブル剤は圃場条件、水管理等で効果が変動しやすいので、植代後の凹凸が少なく、適切な水管理のできる圃場で使用する。手振り散布の場合は、幅20m以内の圃場では両側の畦畔からの散布で処理が可能である。水口一括処理は、圃場に入水開始後に原液を水口に一括施用する。
- 5 ジャンボ剤は、散布時の湛水深を5～6cmのやや深目とし、パックのまま10a当たり10個の割合で、均等に投げ入れる。パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、雨で破かないよう注意する。また、藻類や表層剥離が多発している場合、拡散が不十分となり効果が劣る場合があるので使用しない。短幅30m以下の水田では畦畔からの散布のみでよいが、これを超える場合は、畦畔からの投げ込みに加え更に圃場の中からも投げ込みを行う。
- 6 豆つぶ剤は、散布時の湛水深を5～6cmのやや深目とし、散布後3～4日間は水深を3～5cmに保ち、散布後7日間は落水や掛け流しは行わない。吸湿性があるため、散布時に降雨の場合には濡れないように注意して散布し、濡れた手で扱わない。その他はジャンボ剤に準ずる。
- 7 顆粒水和剤の調製(希釈)は散布当日に行い、所定量の水に溶かして使用する。これらの剤は畦畔からの散布が可能であり、薬液の飛距離が長い手動加圧機や、手振り散布用のボトルが市販されている。短幅30m以下の水田では畦畔からの散布のみでよいが、これを超える場合は、畦畔散布に加え更に圃場内中央に一条散布する。
- 8 植代～移植までの日数が10日以上と長くなる場合は、初期除草剤と一発剤との体系処理も有効である。
- 9 無人航空機による薬剤の散布にあたっては、次の点に留意する。
 - ① 薬剤の散布は使用機種の使用基準に従って実施すること。
 - ② 顆粒水和剤及びフロアブル剤の滴下に当たっては、散布装置にノズルを使用しないこと。
 - ③ 剤の散布には、散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - ④ 顆粒水和剤及びフロアブル剤は作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他装置の十分な点検を行うこと。
 - ⑤ 剤散布装置については、事前に薬剤の物理性に合わせてメタリング開度を調整するとともに、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラ(スピナ)の回転数を低速に調整すること。
 - ⑥ 顆粒水和剤及びフロアブル剤では、隣接する圃場に水稻以外の作物が栽培されている場合は、無人航空機による本剤の滴下は行わないこと
- 10 個別の除草剤の注意事項は、次のイ～エを参照する。

イ 移植栽培用除草剤

	除草剤名	使用時期	参考及び注意事項
一 発 剤	トップガンR 1キロ粒剤	移植時	① 田植同時散布機で散布を行う。 ② 極端な深水条件では葉鞘褐変を生じることがある。(ペントキサゾンの薬害)
	トップガンR 豆つぶ250 イッボンフロアブル バッチリ 1キロ粒剤 バッチリLX 1キロ粒剤 バッチリLXジャンボ バッチリLX400FG デルタアタック 1キロ粒剤 デルタアタックジャンボ デルタアタック400FG	移植直後～ ノビエ2.0葉期まで (但し移植後30日まで)	① トップガンR 豆つぶ250は極端な深水条件では葉鞘褐変を生じることがある。(ペントキサゾンの薬害) ② バッチリ 1キロ粒剤及びイッボンフロアブルは、減水深が大きいたちところでは、残効期間が短くなる。
	コメット 1キロ粒剤	移植後 5日～ ノビエ2.0葉期まで (但し移植後30日まで)	① 葉鞘褐変を生じることがある。(ピラクロニルの薬害)
	トップガンR 1キロ粒剤 キマリテフロアブル ベッカク 1キロ粒剤	移植直後～ ノビエ2.5葉期まで (但し移植後30日まで)	① トップガンR 1キロ粒剤及びトップガンRフロアブルは極端な深水条件では葉鞘褐変を生じることがある。(ペントキサゾンの薬害)
	アップレZフロアブル シグナスフロアブル ベッカク 豆つぶ250 アカツキ豆つぶ250	移植後 3日～ ノビエ2.5葉期まで (但し移植後30日まで)	
	トップガンRフロアブル メガゼータフロアブル	移植後 5日～ ノビエ2.5葉期まで (但し移植後30日まで)	

	除草剤名	使用時期	参考及び注意事項
一発剤	ジャスタフロアブル	移植直後～ ノビエ3.0葉期まで (但し移植後30日まで)	① ジャスタフロアブルはホタルイ多発条件で効果が劣る場合があるため、残草に応じて中後期剤との体系防除を行う。
	センイチMX 1キロ粒剤 フルパワーMX 1キロ粒剤 カウントダウン 1キロ粒剤 カウシルエナジー 1キロ粒剤	移植後 5日～ ノビエ3.0葉期まで (但し移植後30日まで)	
初期除草剤	ソルネット 1キロ粒剤 ベクサー 1キロ粒剤 ベクサーフロアブル	植代後～移植前 7日 または 移植直後～ ノビエ発生始期 (但し移植後30日まで)	① ベクサーフロアブル、テマカットフロアブル、エリジャン乳剤、デルカット乳剤、ショキニーフロアブル及びビワンベストフロアブルは手振り散布とする。機械散布は薬剤が土壌混和され、薬害が生じるおそれがあるので行わない。 ② ノビエ発生始期はノビエ1.0葉未満とする。 ③ デルカット乳剤は整地板使用後の濁水状態で処理することにより、より効果が安定する。 ④ 少量散布(300ml)では一発剤との体系とし、半量・通常量散布(500ml)では一発剤、又は中期剤との体系で使用する。
	テマカットフロアブル	植代後～移植前 7日 または 移植直後～ ノビエ1.0葉期まで (但し移植後30日まで)	
	マーシェット粒剤 5	植代後～移植前 7日 または 移植後 3日～ ノビエ1.0葉期まで (但し移植後30日まで)	
	エリジャン乳剤	植代後～移植前 7日 または 移植直後～ ノビエ1.0葉期まで (但し移植後30日まで)	
	デルカット乳剤	植代時(但し移植前 7日 まで)	
	シーゼットフロアブル ショキニーフロアブル ショキニー250グラム	移植直後～ ノビエ1.0葉期まで (但し移植後30日まで)	
中期除草剤	オシオキMX 1キロ粒剤	移植後14日～ ノビエ3.5葉期 (但し移植後45日まで)	① ザーベックスSM粒剤及びザーベックスDX 1キロ粒剤は、藻類、表層剥離(チブタ)にも有効。 ② MCP類の混合剤(●印)は平均気温16℃以上、稲の葉齢5葉以上で使用する。 ③ 初期除草剤との体系で使用する。 ④ ザーベックスSM粒剤及びザーベックスDX 1キロ粒剤は30℃以上の高温が続くときには下葉枯れ、分けつ抑制などの薬害が生じやすいので使用に留意する。 ⑤ ザーベックスSM粒剤及びザーベックスDX 1キロ粒剤などは散布後に田水面から薬剤が蒸発し気象条件などで滞留した場合や、散布時の飛散で、きゅうり、トマト、だいず畑などに薬害が生ずるおそれがあるので、隣接する水田で使用する場合は注意する。 ⑥ ザーベックスDX 1キロ粒剤は、とうもろこし、食用びえ、ソルガム等のイネ科作物及びキャベツにはかからないようにする。また、散布後の水田水をかん水しない。
	●ザーベックスSM粒剤	移植後20日～ ノビエ2.5葉期 (但し移植後30日まで)	
	テッケン 1キロ粒剤 ニトウリュウ 1キロ粒剤	移植後15～ノビエ4.0葉 期まで (但し収穫60日前まで)	
	●ザーベックスDX 1キロ粒剤	移植後20日～30日 (ノビエ3.0葉期)まで	
	バサグラン粒剤 (ナトリウム塩)	移植後15日～収穫45日 前まで	① 広葉雑草のみに有効な剤である。ノビエが混在する圃場では、それらに有効な剤と組み合わせて使用する。 ② 落水状態(足跡に水が残っている状態)にして散布し、散布後少なくとも3日間は入水しない。水を落とすことができない圃場では、漏水のない水田に限りできるだけ浅水状態(雑草が水面に出る状態)にして散布し、少なくとも5日間はそのままの状態を保つ。また、散布後7日間は降雨の有無に関わらず落水しない。 ③ 晴天の持続する時を選んで使用する。
	クリンチャー 1キロ粒剤	移植後 7日～ ノビエ 4葉期まで (但し収穫30日前まで)	① ノビエのみに有効な剤である。広葉雑草が混在する圃場では、それらに有効な剤と組み合わせて使用する。 ② クリンチャー 1キロ粒剤の散布は、止め水、湛水状態で均一に行い、3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水や掛け流しは行わない。 ③ 初期除草剤又は一発剤との体系で使用する。 ④ とうもろこし、食用びえ、ソルガム等のイネ科作物及びキャベツにはかからないようにする。また、散布後の水田水をかん水しない。

	除草剤名	使用時期	参考及び注意事項
中・後期除草剤	ウィードコア 1 キロ粒剤	移植後 7 日～ ノビエ 4 葉期まで (但し収穫60日前まで)	① 初期剤、初中期一発剤との体系で使用使用する。 ② 散布時は 3～5 cm の湛水状態にして水の出入りを止め、まきむらがないように均一に散布する。 ③ 使用後は 3～5 日間は湛水状態を保ち、使用後 7 日間は落水、かけ流しはしない。
	バサグラン液剤 (ナトリウム塩)	移植後15日～収穫45日前まで	① 体系処理後残った雑草(ホタルイ、ミズガヤツリ、オモダカ、シズイ等)の処理剤として使用する。 ② 落水後均一散布し 3 日間は入水しない。水を落とすことが出来ない圃場では、漏水のない水田に限りできるだけ浅水状態(雑草が水面に出る状態)にして散布し、少なくとも 5 日間はその状態を保つ。また、散布後 7 日間は降雨の有無に関わらず落水しない。 ③ 希釈量:加圧散布機を使う場合は70～80ℓ/10a、無圧散布機は100ℓ/10a
	クリンチャーEW	①移植後20日～ ノビエ 5 葉期まで (但し収穫30日前まで) (湛水散布または落水散布) ②移植後20日～ ノビエ4.5葉期まで (但し収穫30日前まで) (無人航空機による散布)	① ノビエのみに有効な剤である。広葉雑草が混在する圃場では、それらに有効な剤と組み合わせて使用する。 ② クリンチャーEWは、落水又は湛水状態で散布を行う。湛水状態で散布する場合、散布後 3～4 日間は通常の湛水状態(水深 3～5 cm)を保ち、散布後 7 日間は落水や掛け流しは行わない。 ③ 初期除草剤又は一発剤との体系で使用使用する。 ④ クリンチャーEWは展着剤を加えて使用し、散布液の調製は散布当日に行う。 ⑤ クリンチャーEWの使用液量は、「湛水散布又は落水散布」では25～100L/10a、「無人航空機による散布」では0.8～1.6L/10a。 ⑥ とうもろこし、食用びえ、ソルガム等のイネ科作物及びキャベツにはかからないようにする。また、散布後の水田水をかん水しない。
	バサグラン・エアー 1 キロ粒剤	移植後15日～収穫45日前まで	① 体系処理後残った雑草(ホタルイ、ミズガヤツリ、オモダカ、シズイ等)の処理剤として使用する。 ② 散布時は落水状態にして水の出入りを止め、まきむらがないように均一に散布する。本剤使用後は 3～5 日間は落水状態を保ち、使用後 7 日間は落水、かけ流しはしない。 ③ 処理後 2 日以内に降雨があると、除草効果が低下するおそれがあるので、晴天が持続する際に使用する。
	クリンチャーバスME液剤	移植後15日～ ノビエ 5 葉期まで (但し収穫50日前まで)	① ノビエ及び広葉雑草に効果が高い。 ② 可能な限り落水条件で散布し、散布後少なくとも 3 日間はそのままの状態を保ち、入水、落水、掛け流しはしない。水を落とすことが出来ないほ場では、漏水のない水田に限りできるだけ浅水状態(雑草が水面に出る状態)にして散布し、少なくとも 5 日間はその状態を保つ。また、散布後 7 日間は降雨の有無に関わらず落水しない。 ③ 散布液の調製は散布当日に行い、また、薬害のおそれがあるので展着剤は使用しない。 ④ 移植前後の初期除草剤又は一発剤との体系で使用使用する。 ⑤ オモダカ、クログワイに対しては、有効な前処理剤と組み合わせて使用する。 ⑥ とうもろこし、食用びえ、ソルガム等のイネ科作物及びキャベツにはかからないようにする。また、散布後の水田水をかん水しない。
	ヒエクリン 1 キロ粒剤 ワンステージ 1 キロ粒剤	移植後15日～ ノビエ 4 葉期まで (但し収穫45日前まで)	① ノビエのみに有効な剤である。広葉雑草が混在するほ場では、それらに有効な剤と組み合わせて使用する。 ② 減水深が大きい(2 cm/日よりも大きい)ほ場では、効果が劣る場合がある。 ③ 効果の発現までに 7 日以上要する場合がある。
ヒエクリンバサグラン粒剤	移植後15日～ ノビエ 4 葉期まで (但し収穫60日前まで)	① ノビエ及び広葉雑草に効果が高い。 ② 散布はごく浅い湛水状態で行う。薬剤散布後、水口・水尻を止めたまま 2～3 日放置し、その後通常の湛水状態(水深 3～5 cm)を保ち、散布後 7 日間は落水や掛け流しは行わない。 ③ 効果の発現までに 7 日以上要する場合がある。	
ワイドパワー粒剤	移植後20～30日 ノビエ 4 葉期まで (但し収穫45日前まで)	① ノビエ及び広葉雑草に効果が高い。 ② 散布は落水又はごく浅い湛水状態で行う。薬剤散布後、水口・水尻を止めたまま少なくとも 2 日間は放置し、その後 3～7 日間は浅水状態(水深 2～5 cm)とし、その後は通常の湛水状態とする。また、散布後 7 日間は降雨の有無に関わらず落水しない。 ③ 処理直後の極端な深水は除草効果が劣るので注意する。	
その他	モゲトンジャンボ	ウキクサ類、アオミドロ・藻類による表層剥離の発生時 (但し収穫45日前まで)	① 湛水深を 5～6 cm にして剤が土中に埋没しないように投げ入れる。散布後、3～4 日間は通常の湛水状態(水深 3～5 cm)を保ち、散布後 7 日間は落水や掛け流しは行わない。 ② 極端な深水条件や水深が 3 cm 以下では使用しない。 ③ 晴天で効果が高い。 ④ 養魚池やその付近では使用しない。

ウ 育苗期除草剤（箱除草剤）

除草剤名	使用時期	参考及び注意事項
クリンチャーEW	は種後10日 (ノビエ発生盛期)～ ノビエ3.0葉期まで	① ノビエのみに有効な剤である。 ② 有効成分の残効がないため、ノビエが発生盛期に達してから散布する。 ③ 箱育苗における使用回数は1回である。 ④ 展着剤を加えて使用し散布液の調製は散布当日に行う。

エ 直播栽培用除草剤

除草剤名	使用時期	参考及び注意事項
一発剤 トップガンR豆つぶ250 イネキングフロアブル	イネ1.0葉期～ ノビエ2.0葉期まで (但し収穫90日前まで)	① 入水して減水深が2cm/日程度まで落ち着いてから散布する。 ② 稲の根が露出している状態では、葉害が発生するおそれがあるので使用しない。 ③ トップガン剤は、処理時に水稻が冠水すると葉害を生じる場合がある。 ④ オサキニ1キロ粒剤はSU抵抗性アゼナに有効な成分が含まれていないため、SU抵抗性アゼナ発生圃場では効果が劣る。 ⑤ カウンシルコンプリートフロアブルは、キカシグサの除草効果が劣る。
オサキニ1キロ粒剤	入水湛水後～ ノビエ2.5葉期まで (但し収穫90日前まで)	
トップガンR1キロ粒剤	イネ1.0葉期～ ノビエ2.5葉期まで (但し収穫90日前まで)	
トップガンRフロアブル	イネ1.5葉期～ ノビエ2.5葉期まで (但し収穫90日前まで)	
プライオリティ豆つぶ250	イネ出芽揃期～ ノビエ3.0葉期まで (但し収穫90日前まで)	
ボデーガードプロフロアブル カウンシルコンプリートフロアブル	イネ1.0葉期～ ノビエ3.0葉期まで (但し収穫90日前まで)	
初期剤 テマカットフロアブル	湛水直播の代かき後～ は種前7日	① 湛水直播で使用し、手振り散布とする。
ラウンドアップマックスロード	耕起前(雑草生育期)	① 不耕起乾田直播でイネ出芽前に使用する。 ② 非選択性除草剤のため周辺の作物に絶対に飛散しないように注意する。
マーシェット乳剤	は種直後～ イネ出芽前まで (入水15日前)	① 乾田直播栽培の乾田期に使用する。 ② 不耕起乾田直播で使用時に雑草が発生している場合はラウンドアップマックスロードとの組み合わせで使用し、マーシェット乳剤を水で希釈した後、ラウンドアップマックスロードを加える。 ③ 処理時に土壌が湿潤、または処理から3日以内に滞水や土壌が湿潤になる場合は、葉害のおそれがあるため使用を避ける。
ノミニー液剤	乾田直播のは種後10日～ ノビエ4葉期まで (但し収穫60日前まで)	① 乾田直播で入水前に使用する。 ② ノビエの葉齢が進んでいる場合は使用量を多くする。 ③ 散布後6時間以内の降雨は効果が劣ることがあるので注意する。 ④ 低温時には除草効果の発現が遅れることがある。 ⑤ 処理後、イネに黄化症状がみられるが、その後の生育・収量への影響は少ない。
ハードパンチDF	イネ2.0葉期～ ノビエ4.5葉期まで (但し収穫60日前まで)	① 乾田直播で乾田条件(入水前)に使用し、散布後2日間は入水しない。 ② 展着剤を加えないで使用する。 ③ 処理後、イネに褐変症状がみられるが、その後の生育・収量への影響は少ない。但し、降雨後や走り水直後など圃場に滞水がみられる時に散布した場合、生育抑制及び枯死などの強い葉害を生じる恐れがあるので注意する。

	除草剤名	使用時期	参考及び注意事項	
中・後期剤	クリンチャー1キロ粒剤	①使用量1.0kg/10a は種後10日～ ノビエ3葉期まで (但し収穫30日前まで)	① ノビエのみに有効な剤である。広葉雑草が混在する圃場では、それらに有効な剤と組み合わせて使用する。 ② 体系の後処理として使用する場合は、散布時期をのがさないように適期に使用する。 ③ クリンチャー1キロ粒剤の散布は、止め水、湛水状態で均一に行い、3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水や掛け流しは行わない。 ④ クリンチャーEWは、展着剤を加えて使用する。 ⑤ クリンチャーEWの使用液量は、「雑草茎葉散布又は全面散布」では25～100L/10a、「無人航空機による散布」では0.8～1.6L/10a。 ⑥ とうもろこし、食用びえ、ソルガム等のイネ科作物及びキャベツにはかからないようにする。また、散布後の水田水をかん水しない。	
		②使用量1.5kg/10a は種後25日～ ノビエ4葉期まで (但し収穫30日前まで)		
	クリンチャーEW	①は種後10日～ ノビエ5葉期まで (但し収穫30日前まで) (雑草茎葉散布又は全面散布) ②は種後10日～ ノビエ4.5葉期まで (但し収穫30日前まで) (無人航空機による散布)		
	クリンチャーバスME液剤	は種後10日～ ノビエ5葉期まで (但し収穫50日前まで)		① 体系の後処理として使用する場合は、散布時期をのがさないように適期に使用する。 ② 散布時に土壌が乾燥していると効果が劣るので、散布前に走り水などしてから使用する。 ③ 展着剤を加えないで使用する。 ④ とうもろこし、食用びえ、ソルガム等のイネ科作物及びキャベツにはかからないようにする。また、散布後の水田水をかん水しない。
	ヒエクリーンバサグラン粒剤	イネ3葉期～ ノビエ3.5葉期まで (但し収穫60日前まで)		① 体系の後処理として使用する場合は、散布時期をのがさないように適期に使用する。 ② ごく浅く湛水して散布する。薬剤散布後、水口・水尻を止めたまま2～3日放置し、その後通常の湛水状態とする。
	バサグラン液剤(ナトリウム塩)	は種後35日～収穫45日前まで		① 体系の後処理として使用する場合は、散布時期をのがさないように適期に使用する。 ② 落水又はごく浅く湛水して散布し、散布後3～5日間はそのままの状態を保ち、入水、落水、掛け流しはしない。水を落とすことが出来ない圃場では、漏水のない水田に限りできるだけ浅水状態(雑草が水面から出る状態)にして散布し、少なくとも5日間はそのままの状態を保つ。また、散布後7日間は降雨の有無に関わらず落水しない。
	バサグラン粒剤(ナトリウム塩)	イネ3葉期～収穫45日前まで		
ワイドアタックD1キロ粒剤	イネ5葉期～ ノビエ5葉期まで (但し収穫60日前まで)	① 体系の後処理として使用する。 ② 広葉雑草に対して除草効果が劣ることがあるので、ノビエ対策剤として使用する。		

オ 除草剤の殺草葉齡限界期

分類	除草剤名	ノビエ	ホタルイ	ミズガヤツリ	オモダカ
移植栽培用除草剤	一発剤				
	トップガンR豆つぶ250	2.0	1.5	1.0	
	バッチリ1キロ粒剤	2.0	2.0	1.0	
	バッチリLX1キロ粒剤	2.0	2.0	2.0	
	デルタアタック1キロ粒剤	2.0	2.0	2.0	
	バッチリLXジャンボ	2.0	2.0		
	デルタアタックジャンボ	2.0	2.0		
	バッチリLX400FG	2.0	2.0		
	デルタアタック400FG	2.0	2.0		
	イッポンフロアブル	2.0	2.0	1.5	
	コメット1キロ粒剤	2.0	2.0	2.0	
	ラオウジャンボ	2.0	2.0	10cm	
	トップガンRフロアブル	2.5	2.0	2.0	
	トップガンR1キロ粒剤	2.5	2.0	1.5	
	メガゼータフロアブル	2.5	2.0	1.5	
	シグナスフロアブル	2.5	2.0	2.0	
	アップレZフロアブル	2.5	2.0	2.0	
	キマリテフロアブル	2.5	2.0	8cm	
	ベッカク1キロ粒剤	2.5	2.0	8cm	
	ベッカク豆つぶ250	2.5	2.0		
	アカツキ豆つぶ250	2.5	2.0	10cm	
	センイチMX1キロ粒剤	3.0	2.0	2.0	
	フルパワーMX1キロ粒剤	3.0	2.0	2.0	
	ジャスタフロアブル	3.0	2.0	10cm	
	カウントダウン1キロ粒剤	3.0	3.0	11cm	
カウンスルエナジー1キロ粒剤	3.0	3.0	11cm		
初期剤	デルカット乳剤				—
	ソルネット1キロ粒剤	0.5	0.5		—
	ベクサー1キロ粒剤		—	—	—
	ベクサーフロアブル		—	—	—
	エリジャン乳剤			—	—

注)「—」は登録なし。空欄は葉齡の確認ができなかったもの。

分類	除草剤名	ノビエ	ホタルイ	ミズガヤツリ	オモダカ		
移植栽培用除草剤	初期除草剤	テマカットフロアブル	1.0	0.5		—	
	シヨキニーフロアブル (使用量300mlまたは500ml/10a)	1.0	0.5	0.5		—	
	シヨキニー250グラム	1.0	発生始期			—	
	マーシエット粒剤5	1.0	1.0			—	
	中期除草剤	バサグラン粒剤 (ナトリウム塩)	—	5.0	4.0		4.0
		ザーベックスSM粒剤	2.5	3.0			
		ザーベックスDX1キログラム	3.0	2.0			
		オシオキMX1キログラム	3.5	3.0	2.0		
		クリンチャー1キログラム	4.0	—	—		—
		テッケン1キログラム	4.0	2.5	4.0		
		ニトウリュウ1キログラム	4.0	2.5	4.0		
		クリンチャーEW (無人航空機による散布)	4.5	—	—		—
	クリンチャーEW (湛水散布又は落水散布)	5.0	—	—		—	
	中・後期除草剤	バサグラン液剤 (ナトリウム塩)	—	5.0	8.0		6.0
		ヒエクリン1キログラム	4.0	—	—		—
		ワンステージ1キログラム	4.0	—	—		—
		ヒエクリンバサグラン粒剤	4.0	3.0	3.0		
		クリンチャーバスメ液剤	5.0	4.0	5.0		
		ワイドパワー粒剤	4.0	4.0	4.0		
		バサグラン・エアー1キログラム	—	10cm	25cm		
ウィードコア1キログラム		4.0	2.0	7cm			
直播栽培用除草剤	一発剤	トップガンR豆つぶ250	2.0	1.5	1.0		—
		イネキングフロアブル	2.0	2.0	1.5		—
		オサキニ1キログラム	2.5	1.0	2.0		—
		トップガンRフロアブル	2.5	1.5	1.5		—
		トップガンR1キログラム	2.5	2.0			—
		ボデーガードプロフロアブル	3.0	1.5	発生始期		—
		カウンスルコンプリートフロアブル	3.0	1.5	発生始期		—
		ブライオリティ豆つぶ250	3.0	3.0	15cm		—
	初期除草剤	テマカットフロアブル					—
		マーシエット乳剤	発生前(注2)	—	—		—
		ラウンドアップマックスロード					—
		ノミニー液剤	4.0	—	—		—
	中・後期除草剤	バサグラン液剤 (ナトリウム塩)	—	5.0	8.0		6.0
		バサグラン粒剤 (ナトリウム塩)	—	5.0	4.0		—
		ヒエクリンバサグラン粒剤	3.5	3.0	—		—
		クリンチャー1キログラム(1kg)	3.0	—	—		—
		クリンチャー1キログラム(1.5kg)	4.0	—	—		—
		クリンチャーEW (無人航空機による散布)	4.5	—	—		—
クリンチャーEW (雑草茎葉散布又は全面散布)		5.0	—	—		—	
クリンチャーバスメ液剤		5.0	4.0			—	
ワイドアタックD1キログラム	5.0				—		

注1)「—」は登録なし。空欄は葉齢の確認ができなかったもの。

注2)不耕起乾田直播でラウンドアップマックスロードと組み合わせて使用する場合は、雑草の葉齢に係わらずイネ出芽前まで

カ シズイの防除法

1) 発生が多い場合の初期除草剤との体系

薬剤名	シズイを目安とした場合	使用方法
バサグラン粒剤 (ナトリウム塩)	草丈15～25cm 葉齢4～7葉	落水散布又はごく浅く湛水して散布
バサグラン液剤 (ナトリウム塩)	草丈20～30cm 葉齢5～8葉	落水散布又はごく浅く湛水して散布

2) 発生が少ない場合の初期除草剤との体系

シズイに登録のあるベンスルフロンメチルを含む一発剤(水稻除草剤有効成分表参照)は、シズイの草丈2～3cm、葉齢1～2葉を目安として使用する(移植後10～15日頃)。

ベントザンを含む剤との体系処理で高い効果が得られる。

キ SU抵抗性雑草アゼナ類の防除法

1) 初期剤+中期剤の体系処理による防除

MC P B 又はベントザンを含有する中期剤を使用する。

○ 除草剤使用時期等は、その剤の一般草種を対象とした使用方法に準ずる。

2) 一発処理剤による防除

プレチラクロール、ペントキサゾン、ベンゾフェナップ、クロメプロップを有効成分に含む除草剤は効果が期待できる。

カフェンストロール、テニルクロール、ピリプチカルブ、フェントラザミドを有効成分に含む除草剤は効果が期待できるが不十分となる場合もある。

○ 除草剤使用時期等は、その剤の一般草種を対象とした使用方法に準ずる。

○ 処理時期は移植後5日等の早い時期とするよりも、発生前でかつ処理晩限にすることでより効果的である。

○ 有効とされる一発剤であっても、連年使用を避け、なるべく含有成分の異なる除草剤を使用するように心がける。

3) 上記1)及び2)以外の除草剤散布後、又は上記による防除でも残草の多い場合

ベントザンを含有する粒剤又は液剤を使用する。

○ 除草剤使用時期等は、その剤の一般草種を対象とした使用方法に準ずる。

ク SU抵抗性雑草ホタルイ類の防除法

1) 初期剤+中期剤の体系処理による防除

MC P B 又はベントザンを含有する中期剤を使用する。

○ 除草剤使用時期等は、その剤の一般草種を対象とした使用方法に準ずる。

○ 有効成分にプロモプチド、プレチラクロール、ダイムロン、ブタクロールのいずれかを含む初期剤を使用すると、なお効果的である。

2) 一発処理剤による防除

プロモプチド、クロメプロップ、ベンゾビシクロンを有効成分に含む除草剤は効果が期待できる。

ダイムロン、プレチラクロールを有効成分に含む除草剤は効果が期待できるが不十分となる場合がある。

○ 除草剤使用時期等は、その剤の一般草種を対象とした使用方法に準ずる。

○ 処理時期は移植後5日等の早限期とし、なるべく発生前に処理する。

○ 有効とされる一発剤であっても、連年施用を避け、なるべく含有成分の異なる除草剤を使用するように心がける。

3) 上記1)及び2)以外の除草剤散布後、又は上記による防除でも残草の多い場合

ベントザンを含有する粒剤又は液剤を使用する。

○ 除草剤使用時期等は、その剤の一般草種を対象とした使用方法に準ずる。

2 畑作除草剤使用指針

(1) 除草剤使用方法

作物名	農薬名	有効成分	備考
小麦	ラウンドアップマックスロード	グリホサートカリウム塩	通常散布(希釈水量50~100L)
	草枯らしMIC	グリホサートイソプロピルアミン塩	使用量「250mL/10a(希釈水量50~100L、少量散布は25~50L)」 一年生雑草対象 使用時期「耕起前又はは種前まで(雑草生育期)」、 「は種後出芽前(雑草生育期)」
	ゲザガード50	プロメトリン	
	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン	一年生雑草対象 使用時期「は種後出芽前(雑草発生前)」又は「生育期(雑草発生前)(但し、収穫45日前まで)」
	トレファノサイド粒剤2.5	トリフルラリン	使用時期「は種後出芽前」
	ゴーゴーサン乳剤	ペンディメタリン	使用量「300~400mL/10a」
	ゴーゴーサン細粒剤F	ペンディメタリン	使用量「6kg/10a」
	ガレースG	ジフルフェニカン トリフルラリン	使用量「5kg/10a」 使用時期「は種後発芽前(雑草発生前)」
	クリアターン乳剤※	ベンチオカーブ	使用量「500~600mL/10a」
		ペンディメタリン	
		リニュロン	
	クリアターン細粒剤F※	ベンチオカーブ	使用量「5kg/10a」
		ペンディメタリン	
		リニュロン	
	コンボラル	トリフルラリン	使用量「4kg/10a」
		ペンディメタリン	
	カイトック細粒剤F	ペンディメタリン	
		リニュロン	
	ボクサー	プロスルホカルブ	使用量「400~500mL/10a(希釈水量70~100L)」 使用時期「は種後~麦4葉期まで(雑草発生前~発生始期)」
	シナジオ乳剤	トリフルラリン	
		IPC	
	ムギレンジャー乳剤	プロスルホカルブ	使用量「500mL/10a(希釈水量100L)」
		リニュロン	
	リベレーターフロアブル	ジフルフェニカン	
		フルフェナセット	
	リベレーターG	ジフルフェニカン	
		フルフェナセット	
ロックス	リニュロン		
ロックス粒剤	リニュロン		
キックボクサー細粒剤F	プロスルホカルブ		
	リニュロン		
バサグラン液剤(ナトリウム塩)	ベンタズンナトリウム塩	使用量「100mL/10a」 使用時期「生育期 但し収穫45日前まで」	
アクチノールB乳剤	アイオキシニル	使用量「120~160mL/10a」	
ハーモニーDF	チフェンスルフロメチル	使用量「10g/10a(希釈水量100L)」 使用時期「は種後~節間伸長前」	
小麦(ほ場内の周縁部)	バスタ液剤	グルホシネート	

作物名	農薬名	有効成分	備考
だいず	バスタ液剤	グルホシネート	使用時期「は種前(雑草生育期)」、「収穫28日前まで(畦間処理:雑草生育期)」、「収穫28日前まで(株間処理:本葉5葉期以降雑草生育期)」
	ラウンドアップマックスロード	グリホサートカリウム塩	使用量「200~500mL/10a(希釈水量50~100L)」 使用時期「耕起前又は出芽前まで(雑草生育期)」、「収穫前日まで(雑草生育期:畦間処理)」
	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩	
	プリグロックスL	ジクワット バラコート	使用時期「は種前又は植付前」
	ロロックス	リニュロン	
	ロロックス粒剤	リニュロン	
	ゲザガード50	プロメトリン	使用量「150~200g/10a」
	ラッソー乳剤	アラクロール	使用量「300~400mL/10a」
	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン	使用量「200~250mL/10a」 使用時期「は種後出芽前」
	トレファノサイド粒剤2.5	トリフルラリン	使用時期「は種後出芽前」又は「生育期(但し収穫45日前まで)」
	エコトップ乳剤	ジメテナミド	使用量「500~600mL/10a」
		リニュロン	
	エコトップ粒剤	ジメテナミド	
		リニュロン	
	サターンバアロ乳剤	プロメトリン	使用量「600~800mL/10a)」
		ベンチオカーブ	
	サターンバアロ粒剤	プロメトリン	使用量「5~6kg/10a」
		ベンチオカーブ	
	クリアターン乳剤※	ベンチオカーブ	使用時期「は種直後(雑草発生前)」
		ペンディメタリン	使用量「600~800mL/10a」
		リニュロン	
	クリアターン細粒剤F※	ベンチオカーブ	
		ペンディメタリン	
		リニュロン	
	ラクサー乳剤	アラクロール	使用量「400~600mL/10a」
		リニュロン	
	ラクサー粒剤	アラクロール	使用量「4~6kg/10a」
		リニュロン	
	デュアルゴールド	S-メトラクロール	
	フィールドスターP乳剤	ジメテナミドP	希釈水量「100L」
プロールプラス乳剤	ジメテナミドP		
	ペンディメタリン		
	リニュロン		
シナジオ乳剤	トリフルラリン		
	I P C		
エコトップP乳剤	ジメテナミドP		
	リニュロン		
エコトップP細粒剤F	ジメテナミドP		
	リニュロン		
パワーガイザー液剤	イマザモックスアンモニウム塩	使用時期「出芽直前~2葉期(雑草発生始期~2葉期)」 又は「生育期(雑草発生揃期~2葉期)、但し収穫30日前まで(畦間雑草茎葉散布)」	

作物名	農薬名	有効成分	備考
だいず	ナブ乳剤	セトキシジム	
	ワンサイドP乳剤	フルアジホップP	使用量「75～100mL/10a(希釈水量50～100L)」 使用時期「雑草生育期(イネ科雑草3～5葉期)(但し、収穫60日前まで)」
	セレクト乳剤	クレトジム	
	ホーネスト乳剤	テブラロキシジム	希釈水量「100L」
	ポルトフロアブル	キザロホップエチル	希釈水量「100L」
	大豆バサグラン液剤 (ナトリウム塩)	ベンタゾンナトリウム塩	
	アタックショット乳剤	フルチアセットメチル	
あずき	ラウンドアップマックスロード	グリホサートカリウム塩	使用時期「耕起前又はは種前まで(雑草生育期)」 希釈水量「50～100L」
	ゲザガード50	プロメトリン	使用量「150～200g/10a」
	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン	使用量「300mL/10a」
	トレファノサイド粒剤2.5	トリフルラリン	使用量「4kg/10a」
	ナブ乳剤	セトキシジム	
	ワンサイドP乳剤	フルアジホップP	希釈水量「50～100L」
	ポルトフロアブル	キザロホップエチル	
	パワーガイザー液剤	イマザモックスアンモニウム塩	使用時期「出芽直前～出芽揃期(雑草発生始期～発生揃期)」又は「生育期(雑草発生揃期～2葉期)、但し収穫30日前まで(畦間雑草茎葉散布)」

○備考について

本県に適用した使用量、使用方法、使用時期等を記載しているので、記載がない場合は登録内容に基づき使用する。

○除草剤使用に係る注意事項

1. 使用除草剤の選定には雑草の種類、発生消長、気温、土壌水分などに留意して行う。
2. 葉害の出やすいほ場条件では、使用を避けるか、基準量の最低量を散布する。土壌処理剤のほとんどは幼根・幼芽から吸収されるため、砂質土、浅播、土壌水分過多のときなどに葉害を生じやすい。
3. ※の剤については河川、湖沼等への流出を防止するため、使用前後の気象条件に十分注意を払い、大雨等により降水量が多くなるおそれがある場合には、使用を控える。

(2) 各薬剤の参考及び注意事項

薬剤の種類	参考及び注意事項
① 土壌処理剤（茎葉兼土壌含む）	
トレファノサイド乳剤・粒剤2.5	ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科雑草を除く。
ゴーゴーサン乳剤	ツユクサやキク科雑草には効果が劣る。
コンボラル	ツユクサ、キク科を除く。
デュアルゴールド	水稻に薬害を生ずるおそれがあるので、翌年水田に還元するだいたいは使用しない。
ラッソー乳剤	タデ科、アカザ科雑草に効果が劣る。
ロックス	草種により土壌処理と茎葉処理で効果に違いがある場合がある。ツユクサには土壌処理、茎葉処理ともに効果が劣る。だいたいの畦間・株間処理時には噴口はできるだけ低くして、本葉に薬液がかからないように注意する。
② 選択性茎葉処理剤	
ワンサイドP乳剤、ナブ乳剤	イネ科雑草以外には効果がない。スズメノカタビラを除く。
セレクト乳剤	イネ科雑草以外には効果がない。使用量50～75ml/10aは3～5葉期までのスズメノカタビラに効果がある。
ホーネスト乳剤	イネ科雑草以外には効果がない。スズメノカタビラを含むイネ科雑草に効果があるが、6葉期以降のスズメノカタビラには効果はない。
ポルトフロアブル	イネ科雑草以外には効果がない。スズメノカタビラを除く。葉に斑点を生ずることがあるが生育に影響はない。
バサグラン液剤	イネ科雑草を除く。かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
大豆バサグラン液剤	イネ科雑草を除く。畦間散布時には、だいたいに薬液がかからないように注意する。散布時にはドリフトレスノズルを使用するか、飛散防止カバーを取り付け噴口はできるだけ低くして散布する。薬害と収量に及ぼす影響等は別掲のとおり。
パワーガイザー液剤	あずきではイネ科雑草を除く。黄化、縮葉、生育抑制などが生じるが収量への影響はない。微量でイネ科作物、広葉作物ともに周辺作物に影響を与える可能性があるため飛散に十分注意し、飛散の心配がある場合にはドリフトレスノズルを使用する。また、風のある時には使用しない。
アタックショット乳剤	イネ科雑草を除く。薬害と収量に及ぼす影響等は別掲のとおり。
③ 非選択性茎葉処理剤	
バスタ液剤	だいたいの畦間、株間処理時には噴口はできるだけ低くして、本葉に薬液がかからないように注意する。
ラウンドアップマックスロード（液剤）	だいたいの畦間散布時には、だいたいに薬液がかからないように注意する。散布時にはドリフトレスノズルを使用するか、飛散防止カバーを取り付け噴口はできるだけ低くして散布する。

1 大豆バサグラン液剤の薬害と収量に及ぼす影響及び除草効果

- (1) 薬害の助長を防ぐための注意点
 - ア 高温時やだいたいの生育が不良な場合は使用を避ける。
 - イ 重複散布を避ける。
- (2) 「おおすず」における薬害程度

処理後2～3日頃から、褐変、黄化、縮葉が見られ、ひどい場合には上位葉が枯死するが1ヶ月程度でほぼ回復する。減収はだいたい2～3葉期処理で5～7%程度、5～6葉期処理では処理後の生育には影響しない。
- (3) イネ科茎葉処理剤との混用による薬害

だいたい2～3葉期におけるペンタゾン液剤とイネ科茎葉処理剤（セトキシジム乳剤）の混用が薬害を助長させることは少ない（ペンタゾン液剤とセトキシジム乳剤の混用は、使用者が混用する際の目安となるよう紹介するもので、混用をすすめるものではない）。
- (4) 除草効果
 - ア 雑草の草丈10cm以下で処理をすると効果が高く、雑草の草丈15cm以上での処理は、効果を著しく低下させる。
 - イ イネ科雑草には効果がない。イネ科雑草が混在する場合は、イネ科茎葉処理剤と組み合わせて使用する。
 - ウ アカザ科、ヒユ科、トウダイグサ科の雑草及びツユクサには効果が劣る。
 - エ 散布後、曇天、降雨日が長く続くと除草効果が劣る。

2 アタックショット乳剤の薬害と収量に及ぼす影響及び除草効果

- (1) 薬害の助長を防ぐための注意点
 - ア だいたいの生育が不良な場合は使用を避ける。
 - イ 重複散布を避ける。
 - ウ 他の茎葉処理剤（イネ科対象剤を含む）と混用しない。
- (2) 「おおすず」における薬害程度

処理翌日から、薬斑、褐変、白化が見られ、ひどい場合には落葉するが、処理後に展開した新葉に薬害は見られない。減収は0～9%程度である。
- (3) 除草効果
 - ア 雑草の草丈10cm以下で処理をすると効果が高い。
 - イ イネ科雑草には効果がない。イネ科雑草が混在する場合は、イネ科茎葉処理剤と組み合わせて使用する。
 - ウ タデ科の雑草及びアメリカセンダングサ、ツユクサには効果が劣る。
 - エ 処理後6時間以内の降雨は効果を減ずることがある。

3 野菜除草剤使用指針

(1) 作物別農薬一覧

作物名	農薬名 (除草剤)	有効成分
はくさい	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
	トレファノサイド粒剤2.5	トリフルラリン
	ナブ乳剤	セトキシジム
キャベツ	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
	トレファノサイド粒剤2.5	トリフルラリン
	ゴーゴーサン細粒剤F	ペンディメタリン
	コンボラル	トリフルラリン
		ペンディメタリン
	クレマート乳剤	ブタミホス
	クレマートU粒剤	ブタミホス
	ラッソー乳剤	アラクロール
	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩
	ナブ乳剤	セトキシジム
	ワンサイドP乳剤	フルアジホップP
ブロッコリー	アグロマックス水和剤	プロピザミド
	バスタ液剤	グルホシネート
	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩
だいこん(露地栽培)	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
	ナブ乳剤	セトキシジム
	ワンサイドP乳剤	フルアジホップP
かぶ	ラッソー乳剤	アラクロール
	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
	ナブ乳剤	セトキシジム
	バスタ液剤	グルホシネート
トマト(露地栽培)	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
	トレファノサイド粒剤2.5	トリフルラリン
トマト	ナブ乳剤	セトキシジム
	ワンサイドP乳剤	フルアジホップP
	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩
なす(露地栽培)	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
	トレファノサイド粒剤2.5	トリフルラリン
なす	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩
ピーマン(露地栽培)	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
ピーマン	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩
きゅうり(露地栽培(移植))	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
きゅうり	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩
すいか(トンネル・マルチ栽培)	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
	トレファノサイド粒剤2.5	トリフルラリン
すいか	クレマート乳剤	ブタミホス
	クレマートU粒剤	ブタミホス
	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩
メロン(露地栽培(トンネル・マルチ栽培))	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
	トレファノサイド粒剤2.5	トリフルラリン
メロン	クレマート乳剤	ブタミホス
	クレマートU粒剤	ブタミホス
	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩
ねぎ(露地栽培)	ロロックS(水和剤)	リニュロン
ねぎ	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
	コンボラル	トリフルラリン
		ペンディメタリン
	クレマート乳剤	ブタミホス
	セレクト乳剤	クレトジム
	バスタ液剤	グルホシネート
	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩
	ブリグロックS L(液剤)	ジクワット
		パラコート
	ラウンドアップマックスロード	グリホサートカリウム塩
たまねぎ(本畑)	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
	トレファノサイド粒剤2.5	トリフルラリン
たまねぎ(移植栽培)	アクチノールB乳剤	アイオキシニル

野菜

作物名	農薬名 (除草剤)	有効成分
たまねぎ	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩
	モーティブ乳剤	ジメチナミドP ペンディメタリン
	ラウンドアップマックスロード	グリホサートカリウム塩
にんにく	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
	トレファノサイド粒剤2.5	トリフルラリン
	ゴーゴーサン乳剤	ペンディメタリン
	ゴーゴーサン細粒剤F	ペンディメタリン
	コンボラル	トリフルラリン ペンディメタリン
	クレマート乳剤	ブタミホス
	クレマートU粒剤	ブタミホス
	ロロックス(水和剤)	リニューロン
	ナブ乳剤	セトキシジム
	セレクト乳剤	クレトジム
	ワンサイドP乳剤	フルアジホップP
	アクチノールB乳剤	アイオキシニル
	バスタ液剤	グルホシネート
	ブリグロックスL(液剤)	ジクワット パラコート
	ラウンドアップマックスロード	グリホサートカリウム塩
アスパラガス	ロロックス(水和剤)	リニューロン
	センコル水和剤	メトリブジン
	グラメックス水和剤	シアナジン
	ブリグロックスL(液剤)	ジクワット パラコート
	バスタ液剤	グルホシネート
	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩
	ラウンドアップマックスロード	グリホサートカリウム塩
にんじん	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
	トレファノサイド粒剤2.5	トリフルラリン
	ゴーゴーサン乳剤	ペンディメタリン
	ゴーゴーサン細粒剤F	ペンディメタリン
	コンボラル	トリフルラリン ペンディメタリン
	クレマート乳剤	ブタミホス
	クレマートU粒剤	ブタミホス
	ロロックス(水和剤)	リニューロン
	カイタック乳剤	ペンディメタリン リニューロン
	カイタック細粒剤F	ペンディメタリン リニューロン
	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩
	ナブ乳剤	セトキシジム
	ワンサイドP乳剤	フルアジホップP
	ホーネスト乳剤	テブラロキシジム
	セレクト乳剤	クレトジム
レタス(露地栽培)	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
レタス	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩
ごぼう(露地栽培)	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
ごぼう	アグロマックス水和剤	プロピザミド
	ナブ乳剤	セトキシジム
	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩
	ポルトフロアブル	キザロホップエチル
もりあざみ(やまごぼう)	アグロマックス水和剤	プロピザミド
食用ぎく	バスタ液剤	グルホシネート

作物名	農薬名 (除草剤)	有効成分
ながいも (やまのいも)	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
	トレファノサイド粒剤2.5	トリフルラリン
	ゴーゴーサン乳剤	ペンディメタリン
	コンボラル	トリフルラリン
		ペンディメタリン
	クレマート乳剤	ブタミホス
	クレマートU粒剤	ブタミホス
	ロロックス(水和剤)	リニュロン
	ロロックス粒剤	リニュロン
	ダイロンゾル	DCMU
	ナブ乳剤	セトキシジム
	ホーネスト乳剤	テブラロキシジム
	ボルトフロアブル	キザロホップエチル
	ワンサイドP乳剤	フルアジホップP
	バスタ液剤	グルホシネート
	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩
	ブリグロックスL(液剤)	ジクワット パラコート
ながいも(むかご)	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
	トレファノサイド粒剤2.5	トリフルラリン
	クレマートU粒剤	ブタミホス
	ロロックス(水和剤)	リニュロン
	ナブ乳剤	セトキシジム
	ブリグロックスL(液剤)	ジクワット パラコート
	ほうれんそう	レンザー(水和剤)
ラッソー乳剤		アラクロール
ザクサ液剤		グルホシネートPナトリウム塩
いちご	レンザー(水和剤)	レナシル
いちご(親株床)	ワンサイドP乳剤	フルアジホップP
スイートコーン	ゴーゴーサン乳剤	ペンディメタリン
	ラッソー乳剤	アラクロール
	クリアター乳剤	ベンチオカーブ
		ペンディメタリン
		リニュロン
	クリアター細粒剤F	ベンチオカーブ
		ペンディメタリン
		リニュロン
	ボクサー	プロスルホカルブ
	デュアルゴールド	S-メトラクロール
	ゲザプリムフロアブル	アトラジン
	ゲザノンゴールド	S-メトラクロール アトラジン
	フィールドスターP乳剤	ジメテナミドP
	バサグラン液剤	ベンタゾンナトリウム塩
	ブルーシアフロアブル	トルピラレート
バスタ液剤	グルホシネート	
豆類(未成熟、但しえだまめを除く)	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩
	バスタ液剤	グルホシネート
豆類(未成熟)	ナブ乳剤	セトキシジム
えだまめ	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
	トレファノサイド粒剤2.5	トリフルラリン
	デュアルゴールド	S-メトラクロール
	クリアター乳剤	ベンチオカーブ
		ペンディメタリン
		リニュロン
	クリアター細粒剤F	ベンチオカーブ
		ペンディメタリン
		リニュロン
	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩
	ボルトフロアブル	キザロホップエチル
	ホーネスト乳剤	テブラロキシジム
	バスタ液剤	グルホシネート
	セレクト乳剤	クレトジム
ラウンドアップマックスロード	グリホサートカリウム塩	

作物名	農薬名(除草剤)	有効成分
うど	ブリグロックスL(液剤)	ジクワット
		パラコート
ばれいしょ	ロロックス(水和剤)	リニュロン
	ゴーゴーサン乳剤	ペンディメタリン
	クレマート乳剤	ブタミホス
	クリアターン乳剤	ペンチオカーブ
		ペンディメタリン
		リニュロン
	センコル水和剤	メトリブジン
	デュアルゴールド	S-メトラクロール
	トレファノサイド粒剤2.5	トリフルラリン
	コンボラル	トリフルラリン
	モーティブ乳剤	ペンディメタリン
		ジメテナミドP
	ダイロンゾル	DCMU
	ボクサー	プロスルホカルブ
	バスタ液剤	グルホシネート
	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩
ブリグロックスL(液剤)	ジクワット	
	パラコート	
マイゼット(液剤)	ジクワット	
	パラコート	
いも類(かんしょを除く)	ラウンドアップマックスロード	グリホサートカリウム塩

分離作物の使用方法

作物名	農薬名(除草剤)	有効成分
ミニトマト(露地栽培)	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
非結球レタス(露地栽培)	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン
非結球レタス	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩

◎ パラコートを含む除草剤の保管、管理、安全使用について(Ⅲ 使用上特に注意すべき農薬P24参照)

パラコート5%を含有したブリグロックスL、マイゼットは医薬用外毒物であるので、使用に当たっては必ず製品のラベルの記載事項をよく読み、その指示に従うとともに、特に下記の注意事項を厳守する。

- ① 保管する際は必ず鍵のかかる所に厳守して保管すること。
- ② 散布液調製の際は、原液が皮膚に接触したり、目に入ったり、吸込んだりしないよう必ずゴム手袋、防護メガネ、マスクを着用すること。また、散布時には子供や第三者を作業現場に近づけないこと。
- ③ 散布は涼しいときに行い、同一人が長時間作業しないこと。また、過労時は散布しないこと。
- ④ 散布後は顔、手など皮膚の露出部を石けんなどでよく洗い、濡れた衣服などは作業後着がえ洗濯すること。

注意事項

1. 使用除草剤の選定は雑草の種類、発生消長、気温、土壌水分などを留意して行う。
2. 葉害の出やすい畑条件のときには使用を避けるか、基準量の最低量を散布する。
 - ① 非ホルモン移行型の除草剤のほとんどは根部吸収性のため、砂質土、浅播(植)土壌水分過多のときなどに葉害を生じやすい。
 - ② 接触型の除草剤は高温時に効果が高い。
 - ③ 干ばつで土壌水分の少ないときは一般に効果が劣る。
3. 薬剤を溶かす水量は普通の噴霧機利用のとき10a当たり100～1500とする。
4. 使用量の※印は、河川、湖沼等への流出を防止するため、使用前後の気象条件に十分注意を払い、大雨等により降水量が多くなるおそれがある場合には使用を控える。

(2) 各農薬（除草剤）の参考及び注意事項

薬剤の種類	参考及び注意事項
① 土壌処理剤（茎葉兼土壌含む）	
トレファノサイド乳剤	ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科雑草を除く。 トンネルやハウス内では使用しない。（トマト（露地）、なす（露地）、ピーマン（露地）、はつかだいこん（露地）、ミニトマト（露地）、わけぎ、非結球レタス（露地）） ハウス内では使用しない。地這栽培では使用しない。（きゅうり（露地栽培）） 定植3日前以上に使用する。（トマト（露地）、なす（露地）） 苗床や直播のマルチ栽培では使用しない。（はくさい、キャベツ） トンネル栽培では葉害のおそれがある。（にんじん） べたがけ栽培では使用できない（登録なし）。（ごぼう） ほ場に落下したむかごを収穫する場合は、土壌を混入させないように十分注意する。（むかご） 砂土では使用しない。（えだまめ）
トレファノサイド粒剤2.5	ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科雑草を除く。 トンネルやハウス内では使用しない。定植3日前以上に使用する。（トマト（露地）、なす（露地）） 苗床や直播のマルチ栽培では使用しない。（はくさい、キャベツ） トンネル栽培では葉害のおそれがある。（にんじん） ほ場に落下したむかごを収穫する場合は、土壌を混入させないように十分注意する。（むかご） 砂土では使用しない。（えだまめ）
ゴーゴーサン乳剤	ツユクサやキク科雑草には効果が劣る。 植付後処理の場合、砂土～砂壤土では使用しない。（にんにく）
ゴーゴーサン細粒剤F	ツユクサやキク科雑草には効果が劣る。 砂土では使用しない。（にんにく、にんじん） 苗床や直播のマルチ栽培では使用しない。（キャベツ）
コンボラル	ツユクサ、キク科雑草を除く。砂土では使用しない。 セル苗には使用しない。（キャベツ） トンネル栽培では葉害のおそれがある。（にんじん）
クレマート乳剤・U粒剤	ツユクサやキク科雑草には効果が劣る。砂土では使用しない。 ほ場に落下したむかごを収穫する場合は、土壌を混入させないように十分注意する。（むかご）
ラッソー乳剤	タデ科、アカザ科雑草に効果が劣る。 砂土～砂壤土では使用しない。（かぶ、ほうれんそう）
デュアールゴールド	広葉雑草（特にアカザ科）には効果が劣るので、イネ科雑草優占圃場で使用する。砂土では使用しない。
フィールドスターP乳剤	アカザ科、アブラナ科、タデ科雑草を除く。砂土では使用しない。
アグロマックス水和剤	キク科、カヤツリグサ科雑草を除く。砂土では使用しない。 本剤と他の薬剤（殺虫剤、殺菌剤等）との散布間隔は前後1日以上あける。（ブロッコリー） べたがけ栽培では使用しない（本県での試験例なし）。（ごぼう）
センコル水和剤	砂土では使用しない。
ロックス（水和剤）	トンネル栽培では使用しない（葉害）。（にんじん） ほ場に落下したむかごを収穫する場合は、土壌を混入させないように十分注意する。（むかご）
クリアターン乳剤	砂土では使用しない。
ゲザプリムフロアブル	砂土では使用しない。
ゲザノンゴールド	砂土では使用しない。 マルチ栽培は葉害のおそれがあり、は種前の使用は所定量の範囲内で少なめの薬量を散布し、は種後（発芽前）は土壌の高温または過湿が予想される場合の使用を避ける。（スイートコーン）
ダイロンズル	散布適期は「雑草発生前から生育期（草丈15cm以下）」である。畦間処理する場合は作物にかからないように散布する。イネ科雑草2葉期を超える場合は展着剤を加用する。（ながいも）
ボクサー	イネ科雑草に対しては土壌の乾燥及び草種（イヌビエ）によって効果が劣る場合がある。砂土では使用しない。

薬剤の種類	参考及び注意事項
② 選択性茎葉処理剤	
ナブ乳剤、ワンサイドP乳剤、ポルトフロアブル	イネ科雑草以外には効果がない。スズメノカタビラを除く。
セレクト乳剤	イネ科雑草以外には効果がない。スズメノカタビラを除く(使用量35～50ml/10a)。
ナブ乳剤	ながいも(やまのいも)の使用時期が収穫60日前までなので、使用時期に十分注意する。 (むかご) ほ場に落下したむかごを収穫する場合は、土壌を混入させないように十分注意する。 (むかご)
アクチノールB乳剤	イネ科雑草には効果が劣る。
バサグラン液剤	イネ科雑草を除く。かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
ブルーシアフロアブル	散布後、一時的にクロロシス症状が生じることがあるが、その後の生育、収量には影響しない。
③ 非選択性茎葉処理剤	
バスタ液剤	作物にかからないように散布する。 接触剤のため、萌芽後の散布は絶対避ける。(ばれいしょ) 付近の作物にかからないようにする。(ばれいしょ)
ザクサ液剤	作物にかからないように散布する。
ブリグロックスL、マイゼット	作物にかからないように散布する。 接触剤のため、萌芽後の散布は絶対避ける。(ばれいしょ) 付近の作物にかからないようにする。(ばれいしょ) ほ場に落下したむかごを収穫する場合は、土壌を混入させないように十分注意する。 (むかご)
ラウンドアップマックスロード	作物にかからないように散布する。

4 果樹除草剤使用指針

草生栽培園では草刈機で草を刈り取り、苗木養成畑などは人手による除草が望ましいが、労力的に間に合わない場合や草刈機を使用できない場所では除草剤を利用する。除草剤使用の際は、一年生雑草、多年生雑草の発生状況に応じて薬剤を選択し、草の密度が低い場合は散布量または投薬量の少ない方を、草の密度が高い場合は散布量または投薬量の多い方を選択する。また、茎葉散布は雑草の草丈が30cm以下の時期とし、種子の飛散を防ぐため雑草の開花前に散布する。なお、牧草草生で雑草が多くなった場合は、除草した後裸地化した部分に牧草をは種し更新する。

項目	農薬名 (除草剤名)	有効成分	H R A C コ ド	適用樹種						投薬量/10a 散布量/10a		備 考	
				果 樹 類	り ん ご	ぶ ど う	な し	お う と う	も も	一年生雑草	多年生雑草		
刈り取り 代用薬剤	レグロックス	ジクワット	22	○		—*1	—*1				・300～500mℓ ・70～100ℓ	—	・展着剤加用。 ・*1本県では適用しない。 ・メヒシバ、スベリヒユには効果が劣る。
	ブリグロックスL	ジクワット	22	○							・800～1000mℓ ・100～150ℓ	—	・展着剤加用。 ・メヒシバ、スベリヒユには効果が劣る。
		パラコート	22										
	バスタ液剤	グルホシネート	10		○	○	○	○	○	○	・500mℓ ・100～150ℓ	・500mℓ ・100～150ℓ	・展着剤不要。
	ザクサ液剤	グルホシネート Pナトリウム塩	10	○*2	○						・300～500mℓ ・100～150ℓ	・500mℓ ・100～150ℓ	・展着剤不要。 ・*2りんごを除く。
	草枯らしMIC	グリホサート イプロピルアミン塩	9	○							・250mℓ ・25ℓ	・500～1000mℓ ・50～100ℓ	・展着剤不要。 ・一年生雑草では少量散布専用ノズルを使用する。 ・牧草草生では牧草の根まで枯死させるため、使用しない。
	ラウンドアップ マックスロード	グリホサート カリウム塩	9	○							・200～500mℓ ・25～50ℓ	・500mℓ ・50ℓ	・展着剤不要。 ・少量散布専用ノズルを使用する。 ・牧草草生では牧草の根まで枯死させるため、使用しない。
タッチダウン i Q	グリホサート カリウム塩	9	○							・250mℓ ・25ℓ	・500mℓ ・50ℓ	・展着剤不要。 ・少量散布専用ノズルを使用する。 ・牧草草生では牧草の根まで枯死させるため、使用しない。	
難ギン 除ギン 多シ、 年生 タン 雑草 ポボ 対象 薬剤 などの	カソロン粒剤6.7	DBN	29		○						—	・8～10kg ・—	・局所処理する場合のみ選択する。 ・投薬量は処理箇所数に応じて加減する。 ・連年使用はしない。 ・開花期前後の使用は結実不良などを生じるおそれがあるのでさける。
	草枯らしMIC	グリホサート イプロピルアミン塩	9	○							—	・500～1000mℓ ・50～100ℓ	・展着剤不要。 ・通常散布とし、雑草の茎葉から流れ落ちない程度に散布する。
	ラウンドアップ マックスロード	グリホサート カリウム塩	9	○							—	・500mℓ ・50ℓ	・展着剤不要。 ・少量散布専用ノズルを使用する。
	タッチダウン i Q	グリホサート カリウム塩	9	○							—	・500mℓ ・50ℓ	・展着剤不要。 ・少量散布専用ノズルを使用する。

除草剤使用上の注意

- ・葉害を出さないため、樹体に直接かからないようにする。
- ・除草剤の使用に当たっては薬剤のラベルの注意を読んで使用する。特にブリグロックスLは医薬用外毒物であるパラコートを含有する剤なので、その保管場所を万全にするとともに、使用に当たっても十分注意する。詳細はⅢ使用上特に注意すべき農薬P21参照のこと。

5 草地・飼料作物除草剤使用指針

(1) 農薬（除草剤）使用方法

	除草剤名	有効成分	使用時期
牧 草	ラウンドアップマックスロード	グリホサートカリウム塩	・耕起前まで(雑草生育期) ・耕起整地後～は種当日(雑草発生揃期) ・リードカナリーグラスの最終刈取後(雑草生育期：草丈50cm以下)
	草枯らしMIC	グリホサートイソプロピルアミン塩	・更新・造成の10日前まで(雑草生育期) ・は種10日前～は種当日 (耕起整地後：雑草発生揃期)
	アージラン液剤	アシュラム	・ワラビの展葉期(牧野、草地の更新・造成) ・ギンギン類の展葉時期(採草14日前まで)
	ハーモニーDF	チフェンススフロメチル	・新播草地定着後 (但し、ギンギン類草丈20cm以下) ・雑草生育期(採草21日前まで)
	バンベルーD液剤	MDBAジメチルアミン	・秋期最終刈取後30日以内
飼 料 用 と う も ろ こ し	ラウンドアップマックスロード	グリホサートカリウム塩	・とうもろこしの出芽前まで (雑草生育期)
	ゲザプリムフロアブル	アトラジン	・は種後～とうもろこし2～4葉期
	ゲザノンゴールド	アトラジン	・は種後発芽前(雑草発生前) ・生育期(とうもろこし2～4葉期)
		S-メトラクロール	
	デュアールゴールド	S-メトラクロール	・は種後出芽前(雑草発生前)
	ワンホープ乳剤	ニコスルフロン	・とうもろこし3～5葉期(但し、収穫30日前まで)
	エコトップP乳剤	ジメテナミドP	・は種後出芽前(雑草発生前)
		リニュロン	
	シャドー水和剤	ハロスルフロメチル	・一年生及び多年生広葉雑草2～5葉期 (とうもろこし3～5葉期)
	バサグラン液剤(ナトリウム塩)	ベンタゾンナトリウム塩	・とうもろこしの生育期 (雑草の3～6葉期) (但し、収穫50日前まで)
	クリアターン乳剤	ベンチオカーブ	・は種直後(雑草発生前)
		ベンディメタリン	
		リニュロン	
	ゴーゴーサン乳剤	ベンディメタリン	・は種後出芽前(雑草発生前)
	ラッソー乳剤	アラクロール	・は種後出芽前
	ラクサー乳剤	アラクロール	・は種後出芽前(雑草発生前)
		リニュロン	
	ハーモニーDF	チフェンススフロメチル	・とうもろこし2～4葉期(雑草生育期)
	モーティブ乳剤	ジメテナミドP	・は種後～とうもろこし2葉期(イネ科雑草2葉期)まで
		ベンディメタリン	
	ボクサー	プロスルホカルブ	・は種後出芽前(雑草発生前)
	ベルベカット乳剤	フルチアセットメチル	・イチビの3～8葉期(とうもろこし4葉期以降) (但し、は種30日まで) 雑草茎葉散布又は全面散布
	アルファード液剤	トブラメゾン	・とうもろこし3～7葉期(但し、収穫45日前まで)
フィールドスターP乳剤	ジメテナミドP	・は種後出芽前(雑草発生前)	
ブルーシアフロアブル	トルピラレート	・とうもろこし3～7葉期(但し、収穫45日前まで)	
バスタ液剤	グルホシネート	・収穫7日前まで(雑草生育期：は種前又は畦間処理)	

ア 草地

草地区分	除草剤名	作用型効果 対象雑草	使用時期	参考及び注意事項
造成 (更新)時	ラウンドアップ マックスロード	非ホルモン型 茎葉吸収移行性 非選択性 { 1年生雑草及 び多年生雑草 }	耕起前まで(雑草生育 期)	散布後10日以上経過してから耕起、は種を行う。
			耕起整地後～は種当 日(雑草発生揃期)	は種予定の21日以上前には種床を造成し、雑草が出揃っ た時点で散布するのが効果的である。
		{ 多年生イネ科雑 草(リードカナ リーグラス) }	リードカナリーグ ラス最終刈取後(雑草 生育期:草丈50cm以 下)	実生から発生するリードカナリーグラスを防除するた めには、上記方法との併用による2回散布が効果的である。
	草枯らしMIC	非ホルモン型 茎葉吸収移行性 非選択性 { 1年生雑草及 び多年生雑草 }	更新・造成の10日前 まで(雑草生育期)	散布後10日以上経過してから耕起、は種を行う。
			は種10日前～は種当 日(耕起整地後、雑草 発生揃期)	播種予定の21日以上前には種床を造成し、雑草が出揃っ た時点で散布するのが効果的である。
	アージラン液剤	非ホルモン型 吸収移行性 (ワラビ)	ワラビの展葉期	散布後2週間以上経過してから耕起、は種を行う。
新播草地	ハーモニーD F	非ホルモン型 吸収移行性 (遅効性) (ギンギシ類)	新播草地定着後(但し、ギンギシ類草丈 20cm以下)但し、採 草21日前まで	1 実生のギンギシ類に対して使用すること。 2 マメ科牧草には薬害を生じるので使用しない。 3 発芽1か月後を目安に散布する。
経年草地	ハーモニーD F	非ホルモン型 吸収移行性 (遅効性) (ギンギシ類)	雑草生育期(但し、採 草21日前まで)	1 チモシーに対しては生育抑制がみられるので、刈取り 後2～4週間後に散布する。(草丈10～40cm) 2 利用初年目草地での使用はイネ科単播草地に限定し、 散布量は10a当たり1g(水100ℓ)とする。
			アージラン液剤	非ホルモン型 吸収移行性 (遅効性) { ギンギシ類及び キク科の雑草 }
	バンペルーD液 剤	茎葉ホルモン型 吸収移行性 (ギンギシ)	秋期最終刈取後30日 以内	1 マメ科牧草には薬害を生じるのでイネ科単播草地で使 用する。 2 イネ科雑草には効果がない。

イ 飼料用とうもろこし

除草剤名(対象雑草)	使用時期・処理方法	参考及び注意事項
ラウンドアップマックスロード (1年生及び多年生雑草)	とうもろこし出芽前まで(雑草生育期) 雑草茎葉散布	1 アトラジンを含むゲザプリムフロアブルとゲザノンゴールドとの体系処理は避ける。
ゲザプリムフロアブル (1年生雑草)	は種後～とうもろこし2～4葉期 全面土壌散布及び雑草茎葉散布	
ラッソー乳剤 (1年生雑草)	は種後出芽前 全面土壌散布	2 メトラクロール(S-メトラクロール)を含むゲザノンゴールドとデュールゴールドとの体系処理は避ける。
ワンホープ乳剤 (1年生雑草及び多年生イネ科雑草)	とうもろこし3～5葉期(但し、収穫30日前まで) 雑草茎葉散布又は全面散布	
エコトップP乳剤 (1年生雑草)	は種後出芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	3 アカザの多発ほ場ではワンホープ乳剤の処理量は10a当たり、水100ℓに150mlとする。
シャドー水和剤 (1年生及び多年生広葉雑草)	1年生及び多年生広葉雑草2～5葉期(とうもろこし3～5葉期) 雑草茎葉散布又は全面散布	
バサグラン液剤(ナトリウム塩) (1年生雑草、但しイネ科を除く)	とうもろこし生育期 (但し、収穫50日前まで) 雑草茎葉散布又は全面散布	4 バサグラン液剤(ナトリウム塩)、ベルベカット乳剤及びシャドー水和剤はイチビに対する効果が高い。
クリアターン乳剤 (1年生雑草)	は種直後(雑草発生前) 全面土壌散布	
ゴーゴーサン乳剤 (1年生雑草)	は種後出芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	5 ゲザプリムフロアブル、エコトップP乳剤、シャドー水和剤、クリアターン乳剤、ラクサー乳剤、ハーモニーDF及びフィールドスターP乳剤は砂土では使用しない。
ゲザノンゴールド (1年生雑草)	は種後発芽前(雑草発生前) 生育期(とうもろこし2～4葉期) 全面土壌散布	
デュールゴールド (1年生雑草)	は種後出芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	6 ボクサーはアカザに対する効果が劣るので、他の除草剤と併用する。
ラクサー乳剤 (1年生雑草)	は種後出芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	
ハーモニーDF (ギシギシ類)	とうもろこし2～4葉期(雑草生育期) 雑草茎葉散布又は全面散布	7 ベルベカット乳剤使用時には展着剤を混用しない。
モーティプ乳剤 (1年生雑草)	は種後～とうもろこし2葉期(イネ科雑草2葉期まで) 全面土壌散布	
ボクサー (1年生雑草)	は種後出芽前(雑草発生前) 雑草茎葉散布又は全面土壌散布	8 フィールドスターP乳剤はアカザ科、タデ科及びアブラナ科などの一部広葉雑草に対する効果が劣るので、他の除草剤と併用する。
ベルベカット乳剤 (イチビ)	イチビの3～8葉期(とうもろこし4葉期以降)(但し、は種30日まで) 雑草茎葉散布又は全面散布	
アルファード液剤 (1年生雑草)	とうもろこし3～7葉期 但し、収穫45日前まで 雑草茎葉散布又は全面散布	
フィールドスターP乳剤 (1年生雑草、但しアカザ科・アブラナ科・タデ科を除く)	は種後出芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	
ブルーシアフロアブル (1年生雑草)	とうもろこし3～5葉期 但し、収穫45日前まで 雑草茎葉散布又は全面散布	
	とうもろこし6～7葉期 但し、収穫45日前まで 雑草茎葉散布又は全面散布	
バスタ液剤 (1年生雑草)	とうもろこし収穫7日前まで(雑草生育期) は種前又は畦間処理 雑草茎葉散布	

土壌処理剤と茎葉処理剤の組合わせ適否表

土壌処理剤	茎葉処理剤									
	ゲザ プリム フロア ブル	ゲ ザ ノ ン ゴ ー ル ド	ワ ン ホ ー プ 乳 剤	シ ャ ド ー 水 和 剤	バ サ グ ラ ン 液 剤	ハ ー モ ニ ー D F	ベ ル ベ カ ツ ト 乳 剤	ア ル フ ア ー ド 液 剤	ブ ル ー シ ア フ ロ ア ブル	バ ス タ 液 剤
ゲザプリムフロアブル	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
ゲザノンゴールド	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
デュールゴールド	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
ゴーゴーサン乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ラッソー乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エコトップP乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クリアターン乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ラクサー乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
モーティブ乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ボクサー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フィールドスターP乳剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

6 花き除草剤使用指針

(1) 農薬（除草剤）使用方法

作物名	農薬名 (除草剤)	有効成分	農薬使用方法		参考及び注意事項
			使用時期	使用方法・処理方法	
きく	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン	定植後	畦間土壌散布	露地栽培で登録
	ゴーゴーサン乳剤	ペンディメタリン	定植前(雑草発生前)、定植後(雑草発生前)	全面土壌散布	
りんどう	ゴーゴーサン乳剤	ペンディメタリン	萌芽前(雑草発生前)	全面土壌散布	
	ナブ乳剤	セトキシジム	雑草生育期(イネ科雑草3~6葉期、スズメノカタビラを除く)	雑草茎葉散布又は全面散布	
ゆり	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン	植付後~萌芽前	全面土壌散布	
花き類 観葉植物	バスタ液剤	グルホシネート	雑草生育期(畦間処理)	雑草茎葉散布	作物にかからないように散布する。
	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩	雑草生育期(畦間処理)	雑草茎葉散布	作物にかからないように散布する。